

科目名	研究方法論Ⅱ	担当教員	坪内俊憲、水内宏
科目属性	基幹科目	単位数	2単位（面接0.5単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>この授業は「課題（命題）」を「証明」する調査研究のために不可欠な研究計画策定する能力を獲得することを目的としています。</p> <p>解こうとしている問題課題の所在を明確にし、論理構成を策定します。その論理構成に従って、調査対象母集団を特定し、どのような情報が得られれば証明した事になるか考えを組み立てます。情報には、量的データと質的データがありますが、そのデータの取り扱いの基本（やってはいけないこと）を学習します。その理解に基づいて、調査計画書を立案します。人を対象とした調査研究において、倫理的な配慮を考察、対応策を立案します。テキスト学修、多分野の教員によるスクーリング、事後学修により、量的、質的情報・データを用いた研究方法を学習し、以下の到達目標達成を目指しています。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の4つとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査研究対象母集団の特定、質的と量的データの違い、証明できるデータを選定する。 2. 量的研究手法による情報・データの整理・分析手法を学習する。 3. 質的研究手法による情報・データの整理・分析手法を学習する。 4. 「課題」を「証明」できるデータを考察し、調査研究計画企画力を獲得する。 			
<p>【授業計画】</p> <p>授業は、レポート提出、スクーリング、事後学習、科目修得試験（レポート方式）で構成します。全15回の授業計画については、下記の通りです。ただし、本学は通信制ですので、全てを対面（スクーリング）で行うわけではありません。スクーリングは、論文に関わる調査研究を行う調査研究計画について、講義、対話、グループワークなどの多様な方法で、目標に向かって総合的に実施します。ですので、テキスト、参考文献を読み、スクーリング事前学習、事後学習を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題を証明する論理構成を策定する（課題を証明する論理構造：ロジカルフレームワークを作成する） (2) 論理構造の各階層を証明する質的、量的情報を選定し、検証する。 (3) 量を測ることについて学習する。 (4) 量を数値化（視覚化）することについて学習する。 (5) 確率論と統計の関係、相関関係と因果関係の違いについて理解する。 (6) 統計的証拠とその解釈について理解する。 7) 社会調査における事実とは何か？ 8) 質問票作りの基本、課題、バイアスについて学習する。 9) 質問票作りとアンケート調査実施の実践法を学習する。 10) インタビューとその手法によって得られる情報・データの特徴と限界を学習する。 11) 参与観察とその手法によって得られる情報・データの特徴と限界を学習する。 12) GTA、M-GTA手法による質的データの分析方法を学習する。 13) 調査研究手法、母集団、サンプリング変化に関わるバイアスを理解する。 14) 量的、質的情報、様々な分析方法に基づいた調査研究計画を策定する。 15) 調査に関わる倫理的な配慮について想定し、対応策を立案する。 <p>試験</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>課題レポート 20%、スクーリング 30%、科目修得試験 50%となります。科目修得の総合評価の観点は以下です。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 論理構成の要素要因を証明する適切な母集団、データが選定されているかどうか。 (2) 最適な調査手法が選定されているかどうか。 			

(3) 学修したことを踏まえた調査研究計画が立案できているかどうか。

スクーリング評価は、スクーリング時の積極的な発言と発表内容になります。

【教科書】

1. 近藤克彦著、研究の育て方：ゴールとプロセスの「見える化」、医学書院、ISBN-10: 4260036742、ISBN-13: 978-4260036740
2. 伊藤公一朗著、データ分析の力 因果関係に迫る思考法、光文社新書、ISBN-10: 4334039863、ISBN-13: 978-4334039868
3. ウェイン・C・ブース (著)、グレゴリー・G・コロンプ (著)、ジョセフ・M・ウィリアムズ (著)、ジョセフ・ビズアップ (著)、ウィリアム・T・フィッツジェラルド (著)、川又 政治 (翻訳)、リサーチの技法、ソシム、ISBN-10: 4802611528、ISBN-13: 978-4802611527

【参考図書】

1. 谷岡一郎著(2007) (ちくまプリマー新書)、データはウソをつく—科学的な社会調査の方法 ISBN-10: 4480687599 ISBN-13: 978-4480687593
2. 統計学入門 (ちくま学術文庫)、盛山和夫 (2015)、ISBN-10: 4480096728 ISBN-13: 978-4480096722
3. 数学の参考図書：細谷雄三 (2004) 統計的証拠とその解釈 増補版 (数理情報科学シリーズ (9))、ISBN-10: 479520148X ISBN-13: 978-4795201484
4. 山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎 (2008) (オーム社)、Rによるやさしい統計学 ISBN978-4-274-06710-5
5. 戈木クレイグヒル 滋子 (編集)、質的研究法ゼミナール 第2版: グラウンデッド・セオリー・アプローチを学ぶ、医学書院; 第2版 (2013/8/26)、ISBN-10: 4260018671、ISBN-13: 978-4260018678
6. 川喜田 二郎 (著)、続・発想法—KJ法の展開と応用、中公新書 210、ISBN-10: 4121002105、ISBN-13: 978-4121002105 実験計画と分散分析の話 (2013) 日科技連出版社、ISBN-10: 481719457X、ISBN-13: 978-4817194572
7. 山崎 康司著、(2011)、入門 考える技術・書く技術、ダイヤモンド社、ISBN-10: 4478014582、ISBN-13: 978-4478014585
8. 小田 利勝 (著) (2009) (プレアデス出版)、社会調査法の基礎 ISBN-10: 4903814254 ISBN-13: 978-4903814254